

# 監査人のための職業的懐疑心・予兆把握スキルアップ講座

～ “考える監査” による監査での洞察力と創意工夫 ～

## 《開催要領》

※講師とご同業の方のご参加はお断りする場合がございます。※最少催行人数に満たない場合、開催中止とさせて頂く場合がございます。

日時▶ 2017年 8月 21日(月) 10:00～17:00

会場▶ 企業研究会セミナールーム (東京: 麹町)

## 《開催にあたって》

旧来からの監査の世界は、とかく、監査論・監査基準・監査計画の雛形依存や、出来合いの「監査チェックリスト中毒」ともいえる形骸化への道を進みがちに思われます。監査は業務執行とは独立でも経営活動の一環である以上、激変する経営環境に適応する企業経営を支える監査がイキイキとして実効性を高めるためには、監査人が思考停止から脱して「人」としてプロとして、「考える監査」を進めて創意工夫を重ねられるよう、一味違った監査講座をお届けさせていただきます。

講師 日本マネジメント総合研究所合同会社 理事長 戸村智恵 氏

早大卒。米国MBA修了。国連勤務にて国連内部監査業務専門官、国連戦略立案専門官、リーダーなどを担当。民間企業役員として監査統括や、上場IT企業JFEシステムズのアドバイザー、経営行動科学学会理事、JA長野中央会顧問、日本監査役協会の全体会パネリストなどを歴任。NHK「クローズアップ現代」TV出演や著書32冊など産官学を通じて幅広く活動中。講師プロフィール詳細は <http://www.jmri.co.jp/> にて。



《申込書送付先》 FAX▶03-5215-0951 ※当会 HP からもお申し込み頂けます。企業研究会Q 検索

■受講料: 1名( 税込・昼食代含 ) ※申込書をFAXでご送信いただく際は、FAX番号をお間違えないようご注意ください。

正会員 37,800円(本体価格 35,000円) 一般 41,040円(本体価格 38,000円)

|                                        |        |   |  |
|----------------------------------------|--------|---|--|
| 171423-0202 監査人のための職業的懐疑心・予兆把握スキルアップ講座 |        |   |  |
| ふりがな<br>会社名                            |        |   |  |
| 住所                                     |        |   |  |
| TEL                                    | FAX    |   |  |
| ふりがな<br>ご氏名                            | 所<br>属 | 職 |  |
| E-mail                                 |        |   |  |

※申込書にご記入頂いた個人情報は、本研究会に関する確認・連絡および当会主催事業のご案内にお送りする際に利用させていただきます。

■参加要領: 申込書はFAX、または下記担当者宛E-mailにてお送り下さい。当会ホームページからもお申し込み頂けます。後日(開催日1週間～10日前までに)受講票・請求書をお送り致します。

※よくあるご質問(FAQ)は当会HPにてご確認ください。([TOP]→[公開セミナー]→[よくあるご質問])

※お申し込み後のキャンセルはお受け致しかねますので、ご都合が悪くなった場合、代理出席をお願いします。

■お申込・お問合わせ先: 企業研究会 公開セミナー事業グループ 担当/民秋・川守田 E-mail: [tamiaki@bri.or.jp](mailto:tamiaki@bri.or.jp)  
TEL: 03-5215-3514 FAX: 03-5215-0951 〒102-0083 東京都千代田区麹町5-7-2 麹町M-SQUARE 2F

## ・プログラム・

### 1. “Thinking Audit” における監査人の主体的思考力の向上

- (1) 「疑い方」にも流儀がある: 監査人必須の職業的懐疑心とは
- (2) 監査人は何を「感じとる」べきか: 往査・証跡における「違和感」
- (3) 「見えざる監査の先行指標(AILI)」による予兆の把握と旧来のKPIに代わるもの
- (4) なぜ「会計帳簿の不正を見抜く技術」は不正発生後の後追い監査でしかないのか
- (5) 監査クリエイティビティ: 監査における創意工夫
- (6) 「キュリアス・チャイルド・アプローチ(CCA)」による現場での対応
- (7) “Don't Think, Feel!”: 旧来型の監査思考の武装解除と現場そのものを見る姿勢
- (8) 演繹法型監査から帰納法型監査への転換: 経営視点と現場感覚のバランス化
- (9) “Dive into Audit!”: 監査人という人間として現場を肌身で「触れてみる」

### 2. 監査人の推理力・想像力・仮説設計力と検証から隠れた真実を見出すコツ

- (1) 往査で見るべき5つのポイントとは?
- (2) 「重箱の隅をほじくる監査」から「核心の脈を掘り当てる監査」へ
- (3) 不正の予兆をつかむ: 代表的な「不正の予兆パターン」を習得する
- (4) 「ファクト・ファインディング」: 「行間」にある隠れた真実を見抜くには
- (5) 「リスク管理型ビッグデータ」((C)戸村)を通じた不正行動特性の分析事例等
- (6) “BaaT(ビッグデータ利用監査技法)”((C)戸村)によるITを活用した不正調査等

### 3. 監査人が見抜くべき不正の予兆と課題推定講座 (講義&演習)

- (1) 「監査カンファレンス」による様々な角度から検証するチームプレー
  - (2) 現場をまっさらの心で見つめるには? 経験や思いこみのワナの回避術
- 【演習①～⑤】こんなケースであなたは何をどう見てどう判断・行動する?
- ①公益通報による情報入手時
  - ②現場への往査時における職場模様
  - ③取引先とのやりとり
  - ④マイナンバー対応での職場での気になる噂話
  - ⑤ストレスチェックやメンタルヘルスでの気になる職場の状況

### 4. 監査人の「臨機応変力」を向上するために・・・ (演習&解説)

～「ハプニング・カード・シャッフル式トレーニング」～

【演習: 講師も次に何が起こるか分からないシナリオなき思考・推定演習】

監査シーンを想定したハプニングが書かれたカードをシャッフルして受講生の方が何枚か引き、そのカードにかかれた情報・シーン・証跡から自組織で何が起きている・起ころうとしているかを見抜く演習

※最新動向や社会状況に応じて、上記項目例は適宜改訂・修正させて頂く可能性がございます。  
※最少催行人数に満たない場合、開催中止となる場合がございます。

裏面もご覧下さい! 一枚のパンフレットで 2種類のセミナーをご案内しております。